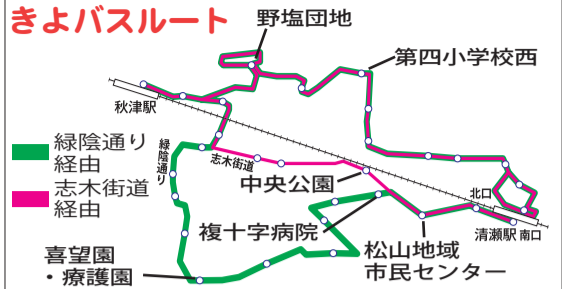


ぐるりきよバスの旅



市民編集委員

片寄明香 さん



清瀬駅北口から緑陰通り経由の「きよバス」に乗車し、コースを1周して清瀬駅南口で下車しました。(約9.4km)



市民の皆さんの足として活躍する「きよバス」

秋津駅北口で数分停車した後、野塩郵便局の方へ直進し、右折して志木街道へ。程なくして、緑陰通りへと進んでいきます。ここからは多くの病院の前を経由して行くので、通院に利用する方も多

清瀬市内には、道路が狭く路線バスの運行が難しい地域があります。そこで、平成19年1月から、路線バスよりも小さな車両を利用したコミュニティバス「きよバス」の運行が始まりました。「きよバス」という名前は市民からの公募で、親しみやすく明るいイメージなどの理由で決まりました。

今回は、「清瀬駅北口発—清瀬駅南口着」の緑陰通り経由に乗って、ぐるりとひと回りしてみました。

清瀬駅北口から乗車

午後1時30分に清瀬駅北口を出発する「きよバス」に乗車。時間通りに発車しました。

小金井街道へ出て清瀬郵便局の交差点を左折し、志木街道へ。途中右折し、いくつかの停留所を経ると、「第四小学校西」の停留所があります。毎年3月下旬〜4月上旬にかけて咲いているかたくりや、多くのチョウやホタルを見ることができ「せせらぎ公園」の散策へは、ここで降りると便利です。

日常の市民生活の足として

明治薬科大学を経由し、野塩団地方面へと向かいます。

野塩団地から秋津駅へ行く場合、急な坂を上らなければなりません。高齢者や体の不自由な方などは、バスを利用すると特に便利だと思います。この日も秋津駅近くのスーパーに行くために乗車した方を見かけました。

秋津駅北口で数分停車した後、野塩郵便局の方へ直進し、右折して志木街道へ。程なくして、緑陰通りへと進んでいきます。ここからは多くの病院の前を経由して行くので、通院に利用する方も多

のではないのでしょうか。

今回、私が乗車した中では秋津駅、清瀬駅ともに一番遠い場所にある「喜望園・療護園」停留所での利用客が多かったようです。

日本社会事業大学や救世軍清瀬病院、複十字病院付近を通り、松山地域市民センターへ。最初はまばらだった乗客数も、この辺りでは満員に近くなっていました。松山地域市民センターの手前を左折し、線路への突き当たりを右折。少し進めば、あつという間に清瀬駅南口に到着です。

実際に乗車してあらためて実感しましたが、「きよバス」の路線は、主に病院、小・中学校や大学、図書館など、普段の生活に直接関わっている施設をうまく回っています。施設を利用される方で、今まで「きよバス」を利用していなかった方も、利用してみたいかがでしょうか。

緑陰通り経由の他に、運行距離が短い「志木街道経由」もあり、こちらは中央公園の前を通りま

す。いずれも清瀬駅北口発・南口着のルートと、逆の清瀬駅南口発・北口着ルートがあるので、山手線の内回り外回りのように目的地別に使い分けると便利です。

環境にも人にも優しいバス

車両のデザインは、市の木「けやき」を基調として緑の都市をイメージしています。環境にも配慮しており、自家用車に比べて二酸化炭素排出量が少なく、温暖化防止にも一役買っているそうです。

降車ボタンは立っている人も座っている人もすぐに押せるように、押しやすい位置に多く設置さ



さまざまな場所に設置された降車ボタン

れています。車いすも1台乗車できます。

料金はおとな(中学生以上)が1回150円、子ども(小学生)1回100円です(未就学児は無料)。ICカードの使用はできませんが、回数券があり、千円で7回(5割引き)、3千円で22回(10割引き)乗車できます。障害者の方は、障害者手帳を提示すると、おとな100円(介助者も同額)となります。

時刻表は清瀬駅北口西武バス総合案内所・市役所本庁舎1階受付・市役所本庁舎3階道路交通課で配布している他に、年に1回新聞に折り込まれるそうです。

運行時間は各路線単位で見ると2時間に1本ですが、緑陰通り経由と志木街道経由の2つの路線とも通っている部分では、往路・復路合わせて1時間に3本程度の運行となっています。印象よりも多く感じました。

取材を終えて

ひと回りした所要時間は約45分。午後の交通量の少ない時間帯ということもあり、ほぼ時刻表通りの運行でした。

秋津駅・清瀬駅間は電車を使うことが多いのですが、自宅は駅よりバス停が近いので、距離の短い志木街道経由などを上手に利用するのも良いと思いました。

がんばりすと

各種大会で優秀な成績を取めた方・団体を紹介します。

農業まつり「農畜産物品評会」入賞者

11月21日・22日、コミュニティプラザひまわりで農業まつりが開催されました。21日に行われた「農畜産物品評会」では、459点の農産物が出品され、審査の結果、次の皆さんが特別賞を受賞されました。



受賞した農産物

また、2人の方が、3年連続同一品目で優秀賞を受賞され、技術優秀特別彰が贈られました。おめでとうございます。(敬称略)

- 【特別賞】里芋=大熊キヨ(下清戸)、ホウレンソウ=小寺浩子(下清戸)、常緑ヤマボウシ=松村新太郎(中里)、赤花いちごの木=松村新太郎(中里)、ブロッコリー=村野源治(上清戸)、ニンジン=関繁樹(中清戸)、カリフラワー=村野恵美子(上清戸)、キャベツ=野島秋男(下宿)、ビオラ=森田晴美(野塩)、パプリカ=関芳子(下清戸)、ソヨゴ=松村俊夫(中里)、キウイフルーツ=関彌生(中清戸)、大根=松村佳則(中里)、水菜=関健一(下清戸)、ホウレンソウ=村野和子(上清戸)、柿=金子廣明(下宿)、キュウリ=松村美由紀(中里)、小松菜=岩田英明(旭が丘)、コハウチワカエデ=小俣靖史(中里)、カブ=小寺麻里子(下清戸)、ばれいしょ=松村良子(中里)、ブロッコリー=細山トクイ(野塩)
- 【技術優秀特別彰】ホウレンソウ=小寺浩子(下清戸)、キュウリ=松村美由紀(中里)

問合せ 産業振興課産業振興係 ☎ 497・2052

「まちかどニュース」「がんばりすと」への投稿を募集中!

応募方法 1日号・15日号ともに掲載希望号の1か月前(いずれも必着)までに、写真(データが望ましい)に説明(いずれも150字程度)を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、直接または郵送、メールで秘書広報課広報聴係 ☎ 497・1808 へ

企画展「染める・織る・縫う」を開催

郷土博物館では、「衣」の文化をテーマに「染め物」「はたおり」「和裁」の各教室を開催しています。本展では、手仕事の楽しさと文化を知っていただくため、各教室の参加者と講師・活動グループの皆さんの作品を紹介します。

◆関連事業「身近な素材で暮らしを彩る」
①手縫いで作る便利な小物を先着15人。
日時 3月8日(火)午前10時〜正午
②体験はたおり(コースター作り)日時 3月5日(土)〜13日(日)午前10時〜午後4時(7日(月)は休館。受け付けは午後3時30分まで)
場所 ①②とも郷土博物館
※市報2月15日号でお知らせし



各教室の参加者・講師の皆さんの作品(昨年)

た「藍で染める春のストール」は、定員に達したため、募集を締め切りました。
申込み・問合せ ①は直接または電話で郷土博物館 ☎ 493・8585へ